

救急看護認定看護師紹介

救命救急センター 喜瀬 裕美



近年、社会構造の複雑化、国民のニーズの多様化により救急医療の時間外診療に対する需要が増加しています。救急外来には、緊急度の高い患者から軽症者まで渾然一体となって来院します。当院では平成14年より救急外来トリアージを行っています。



救急外来トリアージとは、多くの来院患者の中から緊急度の高い患者を見つけ出し、早期に診療に向かわせるためのシステムです。トリアージを行う看護師の役割は、緊急度の高い患者への対応にとどまらず、緊急度の低い患者に対しても、診療開始まで安全に待つことが出来る環境を作る事も大きな役割のひとつです。

緊急性の高い患者をいち早く見つけ出すための知識、技術に加えて患者が感じている苦痛や不安に配慮し、すべての患者に安全な環境を提供出来るように、トリアージを行う看護師育成に力を入れていきます。

世界赤十字デー・看護週間イベント

日時：平成 25 年 5 月 18 日（土）
午前 10 時～午後 3 時
場所：武蔵野赤十字病院
雨天決行 入場料無料

【内容】
コンサート
フリーマーケット
健康チェック
スタンプラリー
赤十字 PR コーナー



武蔵野赤十字病院では、世界赤十字デーと看護週間にあわせて、地域のみならず赤十字を理解していただくために、さまざまなイベントを行います。

お問合せ先：医療社会事業課（内線 7111）



都合により内容が変更する場合があります。

第10回 武蔵野市地域医療連携フォーラム

日時：平成 25 年 4 月 13 日（土）
14 時～16 時 30 分
場所：武蔵野公会堂ホール
(吉祥寺公園口 丸井隣り)

入場無料

お問合せ先：医療連携センター
担当：谷（PHS 8854）



武蔵野赤十字病院



No.36

2013 年 春

〒180-8610
東京都武蔵野市埴南町1-26-1
TEL 0422-32-3111
季刊 情報誌
発行 企画課

武蔵野赤十字病院にはご入院中の小・中学生のための院内学級（いとすぎ学級）があります。



いとすぎ学級児童の作品

基本理念

- 病む人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

基本方針

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供する
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図る
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進める
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続する
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくる



整形外科部長
山崎 晃

脊椎外科について

この度は整形外科の中でも私の専門領域である
脊椎外科について簡単ですがご紹介させていただきます。

脊椎外科ってどんな科ですか！

背骨を手術する科です。

では、どんな病気の人が手術を受けるかわかりますか？
首や腰の痛みは経験のある方も多いと思いますが
寝違えやぎっくり腰では手術はしません。



早朝から行っているカンファレンス風景

手術にまで至るの大きく分けると、変性疾患（腰部脊柱管狭窄症、頸椎症性脊髄症等）、外傷（破裂骨折、脱臼骨折等）、腫瘍性疾患、感染性疾患、等です。
当科では年間約300件の脊椎手術を行ない、変性疾患と外傷で約9割を占めます。
近年の高齢化に伴い、さらにQOL[®]を求められる医療には投薬や注射、リハビリなどは改善しない「腰が痛い」「足がしびれる」に対して手術を要する方がグッと増えています。
さらに当院は3次救急を行っており、日本で有数の脊椎外傷が集まる病院ではないかと思えます。

東京都は人口に対しての医師数は比較的多いですが、多摩地域に関しては十分ではなく、さらには高齢化がすすむ地域なので、脊椎手術需要は今後も増加の一途と考えています。

山崎副院長を中心に一層脊椎外科に取り組んでいこうと考えており、当科のスタッフだけでなく、職員全員で治療に全力を注いでいます。

地域の先生方との協力をお願いして、これからもがんばって参りますのでよろしくお願ひします。腰が痛い、足がしびれる等の症状でお困りの方は当科にご相談ください。

なお、ご面倒おかけしますが当科は予約制外来のため受診の際にはかかりつけ医からの紹介状を準備し、予約をお取りください。



私たちが診察致します

※ QOL(Quality of Life)は、「生活の質」と訳され、人間らしく、満足して生活しているかを評価する概念です。

診療科のご紹介

特殊歯科・口腔外科



部長 道脇 幸博

当院歯科は2006年4月に特殊歯科・口腔外科として改めて開設されました。

現在の診療スタッフは口腔外科専門の歯科医師2名・非常勤歯科医師2名・歯科衛生士2名・看護師2名です。

当科の診療はおもに、親知らずや埋まっている歯の抜歯、口の中（舌・くちびる・歯茎・頬粘膜・あご）の痛み（炎症・骨折）や腫れ（腫瘍・のう胞）に対する治療や、飲み込みにくさに対する検査とリハビリなど、特殊な歯科治療について行っております。

そのため一般的な歯科治療（虫歯・入れ歯の治療など）は、かかりつけの歯科医院にお願いしております。お口の中が気に入りましたら、かかりつけの歯科医院にかかっていただき、紹介状をお持ちになって受診をお願い致します。

現在、新患者数は約2,200名で、その多くは心臓・肝臓・腎臓・肺の病気や糖尿病などを併せて持つことが当科の特徴です。

入院患者数は239名で全身麻酔手術、併存症を持つかたの外来小手術や消炎処置に対応しております。

食べる機能の維持について地域の医師会や歯科医師会と連携し、口腔ケアセミナーや年2回の嚥下セミナーと歯科臨床懇話会を開催しています。

さらに福祉や行政と連携し、在宅患者さんに対するのみ込み障害支援に取り組んでおります。医療技術の進歩と高齢化が進み、併存症を持つかたが今後増えると予想されます。

併存症や、それに対する治療方法についても、さらに知識を高め充実した診療を提供しようとしております。これからもどうぞ宜しくお願い致します。



3月3日に行われた口腔ケア講演会のようす